

広報きくようの歩み



創刊号

昭和45年4月号
1色刷り 6ページ
菊陽町一般財政の公表や「菊陽中学校遂に落成」という記事が掲載。教育環境の充実のための校舎の完成は、住民の待ちに待ったものであった。

100号



昭和54年10月号
B5判2色刷り 16ページ
表紙に衆議院議員総選挙・最高裁判官国民審査の告知が掲載。「議会だより」は広報紙の中に含まれていた。シリーズものの文章には書き手の思いが込められている。



200号

昭和63年1月号
B5判2色刷り 16ページ
表紙は深迫ダム付近からの日の出の風景。菊陽町の文化財や遺跡の紹介をしており、町史を作るために各家庭に眠る歴史的資料の提供を呼び掛けていた。



300号

平成8年5月号
A4判2色刷り 14ページ
住民サービスの向上を目指し役場別館を増設。「広報きくよう」が300号を迎えたことを記念して「はみ出しindex」のコーナーでは、これまでの広報の歩みを振り返っている。



400号

平成16年9月号
A4判フルカラー 24ページ
市町村合併が大詰めを迎え、合併協議の内容を4ページにわたって分かりやすく説明。新市の名前が「東熊本市」に決まったこと、新市役所庁舎の位置が現合志市役所になり菊陽町役場は菊陽総合支所(仮称)などが決められた。しかし、同年10月には合併協議休止の速報が流された。

読者 INTERVIEW



きのした のりこ
木下 訓子さん (三里木)

「情報掲示板」を見て、どこでどんな講座が開かれるかなどをいつもチェックしています。できれば料理系・作る系・試験系など、テーマをまとめてもらうともっと見やすいです。



おおば なおみ
大場 奈緒美さん (緑ヶ丘)

広報紙は毎月見えています。色使いも見やすいですし、文章も読んでいて引っかけられるようなところはありません。「譲ります・ください(リサイクル)」コーナーなどがあるとうれしいです。



皆さんと共に500号



「広報きくよう」が創刊されて500号を迎えました。昭和45年の創刊から44年。広報紙は町の発展を記録し、皆さんの笑顔を記憶しながら共に歩んできました。今回は、「広報きくよう」の歴史を振り返るとともに、これからの広報紙を考えます。

菊陽町にある当たり前前の幸せを感じてもらうため、「広報きくよう」では町の素晴らしいものや頑張っている人たちを紹介しています。当たり前の幸せで菊陽町をもっと好きに、もっと誇りを持つことができれば、新しいまちづくりにもつながっていきます。「広報きくよう」は行政と町民の皆さんをつなぐパイプ役です。皆さんに読まれ、必要とされる「広報きくよう」であり続けたいと思っています。これからも皆さんと共に歩み、町の記録や皆さんの笑顔を記憶していくために努力を続けていきます。みんなで町の歴史を紡ぐように、一緒に作って作り上げていきましょう。

これからも皆さんと共に

広報紙は、町の政策や町民の皆さんに知ってもらいたい情報を分かりやすくお知らせする役目があります。しかし、一方的に「伝える」だけではなく、発信した情報が町民の皆さんに正確に「伝わる」ことが大切です。皆さんに「読んでもらえる広報紙」になるためには、お知らせを提供しながら皆さんと双方向性のある関係を築いていくことが大事です。そこで「広報きくよう」は、お知らせは分かりやすい文章に、イメージを伝えるために写真やイラストを使用し、より親しみのある紙面づくりを心掛けています。

読んでもらえる広報紙に

昭和30年4月、菊池郡津田村と原水村、上益城郡白水村の3カ村が合併して「菊陽村」が誕生しました。当時の広報紙で現存する資料として最も古いものは、昭和35年8月号の「菊陽弘報」です。主な記事として「議会だより」「国民健康保険証小白書」「学校通信」が掲載されています。その後、「菊陽村公報」「菊陽村広報」を経て昭和44年の町制施行を機会に「菊陽町広報」と名称を変更。そして昭和45年に「広報菊陽」創刊号が発行されました。9号目から名称を現在と同じ「広報きくよう」に改め、この1月号で500号という節目を迎えました。

「広報きくよう」創刊